



## 感染者の動向

**累計感染者数** **340万4,283人**

累計死者数 **新規感染の傾向**

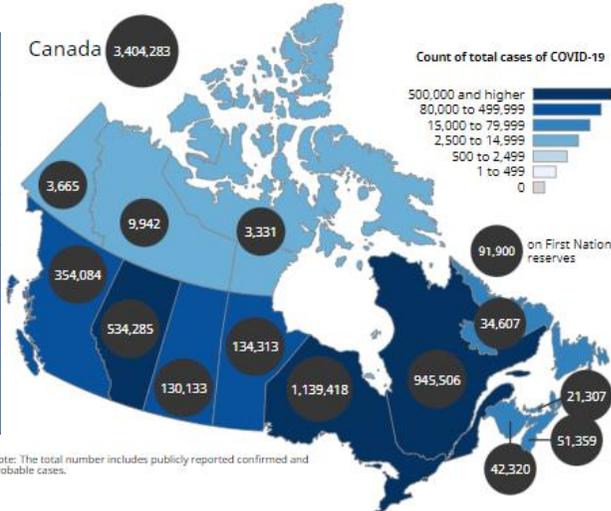
3万7,209人 ↘ (減少)

### 特記事項

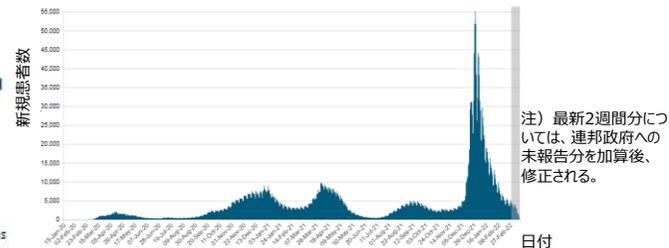
3月15～21日までの7日間平均の新規感染者数は1日あたり4,922人で前週比7%減。3月9日～15日平均の陽性率は13.5%で、全国的にまだ感染が活発であることを示している。3月11日～17日の入院患者数は前週比11%減で、うちICU入院患者は同14%減、死者数は前週から横ばいの51人。カナダでは、オミクロン株のBA.2亜種が増加しているが、そのスピードは遅く、他の亜種は減少または安定している状況。

(出所：カナダ公衆衛生庁3月22日時点**感染者数**、3月18日**報告**)

## カナダの州別感染者数



## カナダの新規感染者数推移



## カナダのワクチン接種状況

分類	接種割合
1回以上接種者	人口の84.7% (32,386,600人)
接種完了者	人口の81.0% (30,987,116人)
追加接種完了者	人口の46.5% (17,764,335人)

(出所：カナダ公衆衛生庁3月22日時点**感染者数**、3月18日時点**ワクチン状況**)



## 日本人に対する入国制限

### 日本人の入国

### 条件あり

#### 外務省渡航情報

レベル3：渡航は止めてください。(渡航中止勧告)

制限措置概要 ※出所：外務省、カナダ移民局、外国からの入国禁止令、カナダ公衆衛生庁

#### ・ ワクチン完了済みの外国人：

観光旅行など不要不急の目的を含め入国可。  
カナダ政府承認済みワクチンの接種完了後14日以上経過したことを証明する書類(英語、仏語、または認定翻訳付)、搭乗前72時間以内のPCR検査もしくは入国日前日の迅速抗体検査の陰性結果の提示およびArriveCANアプリへの登録が必要。入国時に無作為でPCR検査が実施されているが、結果を待つ間の自己隔離は不要。ただし、**4月1日以降、搭乗前検査は不要**になる。

詳細は[カナダ連邦政府ウェブサイト\(英語\)](#)または[日本の外務省ウェブサイト\(日本語\)](#)を参照のこと。

#### ・ ワクチン未完了の外国人：

2022年1月15日以降、ワクチン未完了の外国人については、ごく限られた例外を除き、入国は不可となっている。



## 経済活動再開の状況

### 主要規制・制限、再開基準

- 12月に発出された不要不急の国外旅行の自粛を求める政府勧告は、**2月28日付で撤廃**。

### 各州によるビジネス関連規制の状況

### ※主要州の経済再開計画の概要

オミクロン型変異株の感染の落ち着きに伴い、各州でビジネス関連規制の緩和が始まっている。

- オンタリオ州**では主要規制を3月1日から解除。イベント参加人数、映画館、劇場、レストランなどの入場制限、小売店での2メートル間隔確保などの規制はすべて撤廃された。ワクチン証明の提示義務も解除。ただし企業等が引き続き証明を求めることは許容する。公共交通機関、長期介護施設等の一部施設を除いて、**21日からマスク着用義務を解除**。残りすべてのマスク着用義務についても4月27日付で失効となる。
- ケベック州**では、3月12日付でワクチンパスポートを含む主要規制を解除。マスク着用義務は、遅くとも4月中旬まで継続し、公共共通機関についてはさらに5月まで継続予定。
- ブリティッシュ・コロンビア州**では、マスク着用義務は3月11日に解除したが、ワクチンパスポートは4月8日まで継続。



## 現地日系企業の活動状況

### 1. 2021年9月1日時点の勤務体制 ～出社中心の勤務体制が4割強へ増加～

- ・ リモート勤務が可能な職種で、出社中心の勤務体制を実施している企業は44%で、リモート中心の勤務体制とする企業の45%とほぼ拮抗。「原則として全従業員が事業所に出社」の割合は 23%と、2021年4月の調査結果（11%）から倍増。
- ・ リモート勤務が難しい職種では、「原則として全従業員が事務所に出社」が85%に達した。2021年4月の調査結果と比較すると、同割合は18ポイント増加。

### 2. 9月1日時点の勤務体制 – 業種別 –

- ・ 製造業では、リモート勤務が難しい職種については「原則として全従業員が事務所に出社」は87.8%に達した。一方、リモート勤務が可能な職種については、「原則として全従業員が事務所に出社」とする企業が37.0%と最も多かったが、なんらかの形でリモート勤務を継続する企業が6割強に上った。
- ・ 非製造業でも、リモート勤務が難しい職種については「原則として全従業員が事務所に出社」は81.8%だった。リモート勤務が可能な職種については、「主にリモート勤務とし、事業所への出社も一部実施」が最も多い回答で39.7%に達した。「原則として全従業員が事務所に出社」する体制と回答した企業は12.3%に留まった。

### 3. 新型コロナ収束後の勤務形態 ～コロナ後はハイブリッド型の勤務体制へ～

- ・ 新型コロナ収束後の勤務体制として、「原則として全従業員が事務所に出社」は4割で、出社とリモート勤務を併用するハイブリッド型の勤務体制を予定している企業が5割近くに達した。
- ・ 業種別にみると、「原則として全従業員が事業所に出社」は製造業で54%、非製造業では30% だった。

### 4. 新型コロナ収束後の課題・取り組み ～ハイブリッド勤務、ペーパーレスを推進～

- ・ ワクチンについては、従業員のワクチン接種状況の管理やワクチン未接種従業員の対応などが課題に挙がった。リモート勤務については、従業員ごとの考え方の違いやコミュニケーションの希薄化や人材育成が課題として指摘された。
- ・ 取り組みとしては、ハイブリッド勤務を標準化やドキュメント類のペーパーレス化などが挙げられた。



- ▶ デジタル技術の活用を促進し、地理的制約を受けることなく、コロナ後の世界に合わせた企業支援を実現。

## 1. 対コロナ企業個別相談・ウェビナー

- ・ 在加日系企業向け、法務・税務・労務の個別相談もオンライン・ツールで対応。
- ・ 政府の経済支援策やその他情報をウェビナーで提供。カナダ国内の企業だけでなく、カナダを所管する在米日系企業へも広く情報提供を行う。

過去のウェビナー録画は以下URLから視聴可能

[https://www.jetro.go.jp/webseminartop/n\\_america/ca/webseminar/](https://www.jetro.go.jp/webseminartop/n_america/ca/webseminar/)

## 2. 輸出促進事業

- ・ カナダでの使い捨てプラスチック容器規制の動きに対応し、レストラン等を対象とした折箱（使い捨て木製弁当箱）ウェビナー、商談会を8～9月に開催。

- ・ **Eコマース**で日本の輸出をサポートするJapan MallをカナダEC業者と提携して実施。

<https://www.ippinka.com/products/japan-mall/>



## 3. スタートアップ支援、オープンイノベーション

- ・ スタートアップの海外展開支援**グローバルアクセラレーションハブ**がトロントでもサービス開始。企業向けオープンイノベーションに関するブリーフィングサービスも実施している。



<https://www.jetro.go.jp/services/jhub.html>

- ・ 北米最大のテック・カンファレンス**Collision 2021**に参加した日本のスタートアップ6社を支援するとともに、日本のエコシステムを紹介するラウンドテーブルを実施。

- ・ ジェトロ横浜と共催で**カナダテック企業ショーケース**を7月に

開催。製造現場に導入できるAIを駆使した自動走行車、エラー検出技術などを紹介した。



# J

ジェトロからのお知らせ

北米の新型コロナウイルス感染拡大の影響情報

<https://www.jetro.go.jp/world/covid-19/us/>

北米イベント情報

[https://www.jetro.go.jp/eventstop/n\\_america/us/events/](https://www.jetro.go.jp/eventstop/n_america/us/events/)

在カナダ日系企業向け新型コロナ対応無料個別相談

<https://www.jetro.go.jp/world/covid-19/us/>